

第11回 書道パフォーマンス甲子園
(全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会)
予選演技・審査基準

1. 審査期間

平成30年5月9日(水)～ 6月14日(木)

2. 審査方法

- (1) 予選審査は主催者が委嘱した審査員が採点・評価を行う。
- (2) 審査方法は、下記提出書類等の内容を審査員が評価し、採点する。
- (3) 予選審査員は公開しない。
- (4) 採点方法・順位の決定方法は下記のとおりとする。

3. 審査の対象

開催要項の規定に則り、撮影された書道パフォーマンスの動画及び写真

4. 審査基準及び得点

- (1) 予選は、審査員が書道部門、パフォーマンス部門に分かれ、地方ブロックごとに審査を行う。
- (2) 審査は地方ブロックごとに4名程度が行い、それぞれ1名ずつ予選審査員長を置く。
- (3) 各地方ブロックでの書道部門、パフォーマンス部門審査員の数は同数とする。なお、各審査員が審査する地方ブロックは、審査員の専門分野やブロック応募校数等を考慮し、実行委員会が決定する。
- (4) 書道部門の審査員は、①書の美、②紙面構成、③用筆の正確さ、④独創性、⑤総合の各項目を審査し、パフォーマンス部門の審査員は①所作の美、②演技構成、③身体表現力、④独創性、⑤総合の各項目を審査する。
- (5) 各審査員の持ち点、各審査項目の評価ポイントは下表のとおりとする。
- (6) 合計得点が同点の場合、当該ブロックの予選審査員長が上位を決定する。

【審査員の担当項目及び持ち点】

| 審査員 | 書の評価 | | | パフォーマンスの評価 | | | 共通評価 | | 合計 |
|-------|------|------|--------|------------|------|-------|------|----|-----|
| | 書の美 | 紙面構成 | 用筆の正確さ | 所作の美 | 演技構成 | 身体表現力 | 独創性 | 総合 | |
| 書道部門A | 10 | 10 | 10 | | | | 10 | 10 | 50 |
| 書道部門B | 10 | 10 | 10 | | | | 10 | 10 | 50 |
| P部門A | | | | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 50 |
| P部門B | | | | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 50 |
| 合計 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 40 | 40 | 200 |

【審査項目と評価ポイント】

| 評価軸 | 評価項目 | 配点 | 評価ポイント |
|------------|--------|-----|--|
| 書の評価 | 書の美 | 10点 | 書の実しさ、文字表現の実しさ、色彩の実しさ、選択した言葉の評価 |
| | 紙面構成 | 10点 | 行の流れや紙面全体のバランス、一体感の評価 |
| | 用筆の正確さ | 10点 | 用筆の正確さ、運筆の巧みさの評価 |
| パフォーマンスの評価 | 所作の実しさ | 10点 | 書く姿の実しさの評価 |
| | 演技構成 | 10点 | 演技のストーリー性や組み立て、チーム全体の一体感の評価 |
| | 身体表現力 | 10点 | 表情もふくめ、パフォーマンス、身体での表現度の評価 |
| 共通評価 | 独創性 | 10点 | 新しい挑戦や工夫の評価 |
| | 総合 | 10点 | 書とパフォーマンスの融合などを総合し、その書・演技により観る人の心を動かした評価 |

※応募校へは審査員の名前を伏せたうえで、自校の総得点・得点内訳・審査員講評を公開。

※一般へは本戦出場校の実名・総得点・順位は公開するが、審査員各自の点数は非公開。その他高校については、校名非公開だが総得点は公開。

6. 応募方法、提出物及び提出時の注意事項

(1) 応募期間

平成30年4月6日(金)～平成30年5月8日(火)17:00まで(必着)

(2) 提出物

- (一) 動画(DVD) 1枚
- (二) 完成写真 5枚
- (三) 予選参加申込書 1枚

(3) 注意事項

(一) 動画(DVD)

- ・動画の演技は6分以内とすること。
- ・動画は平成30年1月1日以降に撮影したものとする。
- ・演技に参加する選手は12名以内とし、平成30年4月1日現在の在校生でなければならない※新1年生可
- ・冒頭「〇〇高校です。お願いします」で始まり、完成後作品を掲げ「ありがとうございました」で終わる。
- ・揮毫用紙の色・種類は問わないが、大きさは概ね横6m×縦4mのものとする。
- ・動画の撮影については、次の撮影方法によること。
 - ①演技者の正面にビデオカメラを固定し、演技の全体及び揮毫中の文字が確認できるよう撮影すること。
 - ②動画は一定の倍率で撮影し、ズーム機能等を使用しないこと。
 - ③動画は演技最初から最後までを通して撮影すること。
 - ④演技中の動画を編集したと認められるものは審査対象から除外する。
- ・紙吹雪の活用や、別用紙等の貼り付けは予選では可とする。(本戦での使用については別途定める)
- ・DVDは、家庭用DVDプレイヤー及びPCにて正常に視聴できることを確認したうえで提出すること。

(二) 完成写真

- ・A4カラー(普通紙での提出可)
- ・写真の作品は提出する動画と同じ作品でなければならない。
- ・写真は作品全体が確認できるよう撮影すること。

(三) 予選参加申込書

- ・参加者の学年、役職等は平成30年4月1日現在で記入すること。
- ・参加者について学校長の証明を受けたうえで提出すること。

7. 応募・お問合せ先

〒799-0497 愛媛県四国中央市三島宮川4丁目6番55号 四国中央市教育委員会事務局文化振興課内
書道パフォーマンス甲子園実行委員会事務局
TEL : 0896-28-6037 FAX : 0896-28-6060
E-mail : info@shodo-performance.jp HP : http://shodo-performance.jp/

8. 参加料

- (1) 3,000円/1校
- (2) 本戦出場の有無に係わらず、参加登録料として平成30年5月8日(火)17:00までに現金書留又は銀行振込みにて納入すること。※期日厳守
- (3) 振込先
伊予銀行 三島支店 普通 1855878 書道パフォーマンス甲子園実行委員会 会長 篠原 実

9. 罰則事項

- (1) 動画の演技時間が6分を超えている場合、5点減点する。
- (2) 演技参加人数が12名を超えている場合、審査対象から除外する。
- (3) 完成写真と動画の作品が異なると認められる場合、審査対象から除外する。
- (4) その他、提出物に不備や虚偽、または違反があると認められた場合、主催者で減点または失格とする。

10. その他

- (1) 予選審査提出物は返却しない。
- (2) 応募したチームは、ホームページ・プログラム・報道関係へチーム名(学校名)・個人名等の記載・放映に承諾したものとみなす。
- (3) 予選に応募した演技動画、作品写真は公開しない。
- (4) 本基準に記載されていない事項は実行委員会で決定する。